

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

市民測定結果を追認して、町田市が小中学校で放射線を測定・除染

町田市が市内小中学校の中で高放射線量地点の測定と除去を決定しました。特に、当初から問題にしていた忠生地区の小中学校では、父兄が測定して初めて高い放射線量を示すことが確認された学校（忠生小学校）では、その土壌の除去まで行われていました。

もとより、こうした経過を自主測定者本人や連絡の当事者である私などに説明をするような配慮すらしないのが町田市の従来からの特徴であり、「対策を自主的にやりましたよ、メディアにも発表したでしょう」と言うスタンスです。ともあれ、町田市が全体にホットスポット、ピンポイントの高放射線量が想定される場所では測定しないという当初の方針を変え、公立小中学校・保育園や、希望する私立幼稚園・保育園などにも測定を実施することを明らかにしたことは、一步前進と言えます。ただ、当方の情報のように、土壌の放射性物質の含有量までを測定したわけではなく、そのベクレル数は測定せずに、校庭内に埋めてしまおうという考えです。果たして、その埋めた場所を明示するのかどうかと言うことを含め、これからの課題だと考えています。なお、町田市の説明では、その土壌を除去するのは、0.23 マイクロシーベルト/hour 以上の地点としていますが、これも測定の高さが問題となるでしょう。

なお、父兄が測定した空中放射線量と町田市が測定した数値に違いがある理由は、父兄の測定が直に側溝内に置いた測定と、町田市は地上 5 cm で測定した測定との相違、及び町田市側のその測定方法が測定地点の平均数値

であるためであろうと推測します。

今回の経過と今後の展望の詳細は、私が所属する健康福祉委員会の次回の会議において明らかにしていきたいと考えています。

私も放射線測定器を手元に



線測定器（ハンディーサーベーター）をついに購入しました。これまで何度も自分の手元に放射線量の測定器を置きたいと思っていましたが、多忙な中でのこと、本当に自分がそれを使いこなす機会があるのか疑問でした。これまでは 4 月段階から友人の方に測定していただいた数値をメールで頂き、それをブログや HP 上にアップしてきました。また、最近では小中学生のご父兄から情報をいただくようになりました。こうしたネットワークを活かし、さらにホットスポットやマイクロスポットを発見し、住民の皆さんに伝えていきたいと思っています。因み、測定の精度を追求する目的で、ハンディータイプでは最高級機種である富士電機製の「ハンディーサーベーターNHE2」を購入しました。この機種は、現在複数の原発で実際の測定に使用されているものです。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



双方向の情報交流

リニア中央新幹線開通と 20年後の町田市中心街

J R 東海は建設予定のリニア中央新幹線に関して、その各県に一ヶ所としてきた中間駅の設置費用を地元負担してもらおうとしてきましたが、それを全額自社負担とする方針に切り替えることを社長が記者会見で発表しました。

大きな転換です。私はこのリニア新幹線駅の設置に関して地元負担が大きな足かせとなると見ていました。それを促進する意味で、神奈川県の場合は東京都が負担の一部を引き受け、その分、設置場所を町田市寄りにすることで相模原市との話し合いが持てると思っていました。実際には、これで相模原市は労せずして、未来の交通網の拠点を手の中に収めることが出来ました。これからは、その新駅が建設される予定の J R 橋本駅付近がこの相模原市・町田市地域の中で最大のターミナルになることとなります。



現在の J R 横浜線を撮影。将来は、リニア中央新幹線の開通で山手線並みの路線になる

ある意味残念なのは、このリニア新幹線の開通によって、武相地域において現在の町田市の中心地である町田駅界隈が交通の中心になることはなきに等しくなることです。これからの町田市は、その相模原市の発展と一体になって進むか、その発展に目を逸らして閉じた貝のようにひっそり生きて行くか、いずれかの選択をすることになります。私は、以前から主張しているように、町田市は相模原市と一体になった成長・発展を迫るべきだと考えています。

「世界の100人」桜井南相馬市長の講演シンポで司会を担当する

超党派地方議員の自主的な研修会である、第 16 回清溪セミナーに参加しました。プログラム中の「東日本大震災と日本の復興」と言う講座で司会を担当しました。

その講師陣には、福島県南相馬市長の桜井勝延氏があり、タイム誌が発表した「世界で最も影響がある 100 人」に選ばれたことでも明らかのように、一際光った存在でした。桜井市長は、市域が政府の判断で屋内退避の対象となり、その窮状を伝えるべきメディアも退去し、他からの救援の動きも途絶えてしまい、インターネット上に自身が世界に救援を訴えるユーチューブ動画を配信し、それに英語のテロップが付けられたことで、一躍世界の人が知ることになりました。

桜井市長の講演によれば、議会との対応でも毅然とした対応で接されているようでした。そのスタンス共々、参考になりました。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : yoshidaben@gmail.com